

【事象】5. データ確認ツール使用方法

HOS191018

◆入手方法

PCAホームページ (URL→pca.jp/1909d21/D2150023535.exe) からプログラムをダウンロードします。自己解凍させた後に、当『D21販売仕入消費税確認ツール』(以下、当『確認ツール』)をアプリケーションサーバーの任意のフォルダに配置します。

◆発生条件

消費税計算時の端数処理で切り上げが発生した場合、売上傳票 (納品書)、請求書、および支払明細書の消費税額に1円の誤差が生じる場合があります。

A.売上傳票	B.請求書	C.支払明細書
① 基本情報の設定の売上時の内税商品の消費税計算が「請求先に従う」の時	① 得意先の消費税通知が「請求書一括」	① 仕入先の消費税計算が「支払明細書一括」
② 得意先の消費税通知が納品書毎の時	② 得意先の消費税端数が「切上げ」か「四捨五入」	② 仕入先の消費税端数が「切上げ」か「四捨五入」
③ 上記②の消費税端数が「切上げ」か「四捨五入」の時	③ 請求書で端数切上げが発生した時	③ 支払明細書で端数切上げが発生した時
④ 売上傳票の登録で端数切上げが発生した時	上記①~③をすべて満たす場合	上記①~③をすべて満たす場合
上記①~④をすべて満たす場合		

返品等のマイナスの消費税は、消費税端数「切捨て」の場合、切上げされます。この場合も現象の発生条件に該当します。

◆対応プログラム

2019年10月10日に公開致しました最新

「PCA Dream21 1.0-5.00 アップデート 9550-5.00-006」プログラムにて修正しております。

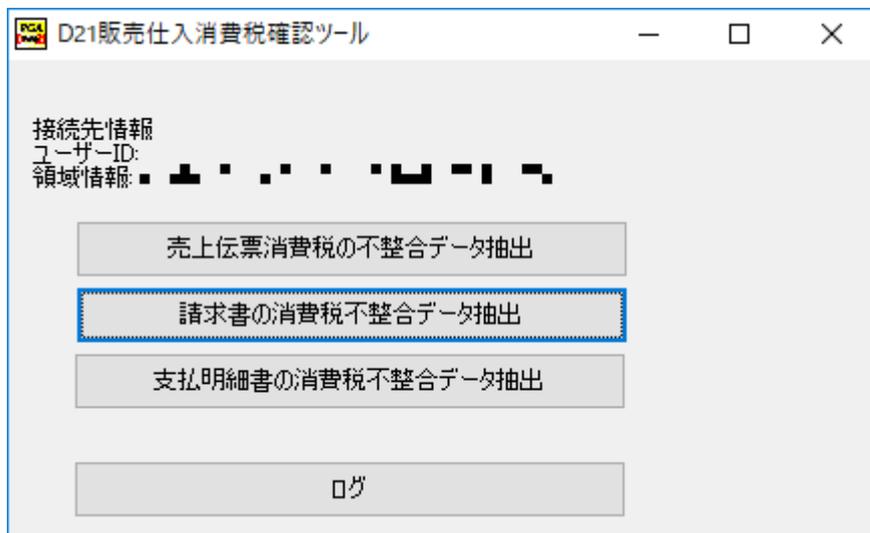
当『確認ツール』をご利用の場合には、必ず上記の修正プログラムの適用を事前に行ってください。

◆事象発生の確認方法

当『確認ツール』を使用して対象データのチェックをお願いします。

※このツールは不整合データを確認してログファイルに出力するツールです。

データを更新するようなツールではありません。



1. アプリケーションサーバーで『PCA Dream21』を起動し、「ファイル」－「領域の選択」にてチェックしたいデータ領域を選択します。

データ領域選択後、アプリケーションサーバーの『PCA Dream21』のメニューは開いた状態のままにします。

誤検知を防ぐため、他の全てのクライアントでは『PCA Dream21』のメニューを終了してください。

※当『確認ツール』は、『PCA Dream21』のクライアントでは動作しません。

※当『確認ツール』の実行中にデータ領域の選択し直しは行わないでください。

2. 当『確認ツール』の実行ファイル「PCAD21消費税チェックツール.exe」をダブルクリック等で起動します。

正しく起動できた場合は、接続先情報としてユーザーID、領域情報が表示されます。

3. 発生条件別に各ボタンをクリックしてデータ抽出を実行します。

※Rev5.00リリース日2019年8月28日より最新のデータを対象とします。

4. [ログ] ボタンをクリックしてデータ抽出結果を確認します。

- ・各ログファイルが保存されたフォルダをエクスプローラーで開きます。メモ帳等で各ログファイルを開いてください。ファイルはカンマ区切りのCSVファイルです。
- ・ログファイルが「不整合がおきている情報は見つかりませんでした。」であれば、事象は発生していません。

5. 他にチェックの対象となる発生条件がある場合には、[ログ]を確認した後に当『確認ツール』の [×] ボタンをクリックしてツールを一旦終了します。当『確認ツール』を再度起動して3、4の操作を行ってください。

発生条件	説明
A.売上傳票	<p>[売上傳票消費税の不整合データ抽出] ボタンにてデータ抽出となる。</p> <p>ログファイルの命名ルールは“売上傳票チェック結果_yyyyMMdd_hhmm.log”です。</p> <p>伝票登録時に消費税額を修正した場合には、誤検知となることもあります。</p> <p>伝票登録後、発生条件①~③を変更された場合には、誤検知となることもあります。</p> <p>対象データを検知した場合にはログファイルに以下の項目を出力します。</p> <p>得意先コード、得意先名略称、伝票日付、伝票番号、最終更新日時、不整合内容</p> <p>不整合内容の例としては、“外税にX円の相違があります”</p>
B.請求書	<p>[請求書の不整合データ抽出] ボタンにてデータ抽出となる。</p> <p>ログファイルの命名ルールは“請求書チェック結果_yyyyMMdd_hhmm.log”です。</p> <p>請求締め後、発生条件①②を変更された場合、売上傳票を変更された場合、その請求期間の売上に更新が入った場合には、誤検知となることもあります。また請求期間が重複する場合も誤検知となることもあります。</p> <p>対象データを検知した場合にはログファイルに以下の項目を出力します。</p> <p>請求先コード、請求先名略称、請求期間From、請求期間To、最終更新日時、不整合内容</p> <p>不整合内容の例としては、“外税にX円の相違があります”</p>
C.支払明細書	<p>[支払明細書合データ抽出] ボタンにてデータ抽出となる。</p> <p>ログファイルの命名ルールは“支払明細書ク結果_yyyyMMdd_hhmm.log”です。</p> <p>支払締め後、発生条件①②を変更された場合、仕入伝票を変更された場合、その精算期間の仕入に更新が入った場合には、誤検知となることもあります。また精算期間が重複する場合も誤検知となることもあります。</p> <p>対象データを検知した場合にはログファイルに以下の項目を出力します。</p> <p>支払先コード、支払先名略称、支払期間From、支払期間To、最終更新日時、不整合内容</p> <p>不整合内容の例としては、“外税にX円の相違があります”</p>

6. 他にチェックの対象となる データ領域がある場合には、当『確認ツール』を一旦終了します。『PCA Dream21』の「ファイル」-「領域の選択」にてデータ領域を選択し直した後に、当『確認ツール』を再度起動して3~5の操作を行ってください。

◆修正方法

発生条件	説明
A.売上傳票	必要に応じ、明細の消費税を再計算するような操作（例えば明細のどれか1つで数量を変更する）を行っていただき修正していただく必要があります。
B.請求書	発行済みの請求書・支払明細書を正とする場合、対応は不要です。再度本締めを行うと消費税額が変わってしまう場合があります。
C.支払明細書	発行済みの請求書・支払明細書を訂正する場合、再度本締めを行って請求書・支払明細書を発行し直してください。

◆本件に関するお問い合わせ先

弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

今後ともPCA製品を末永くご愛用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。